

3. グリーンスローモビリティの実験運行を4月から開始します

窓ガラスが無く開放感のある低速電動モビリティ（グリーンスローモビリティ）の特性を活かし、四季折々の車窓の景色や風、香りを感じたり、音や声を聞いたり、心地良い自然との一体感を体感し移動する新たなモビリティサービスの創出を目指します。

【実施概要（案）】

事業内容

グリーンスローモビリティを活用し、道の駅「のつはる」から野津原支所、植田支所を経由し、JR大分駅を結びます。

実験運行では、速度が遅い車両の特性を生かし、手を挙げれば自由に乗車できる野津原地域でのフリー乗降や、大分川の河川敷内の道路を利用した走行空間の確保など、実験を通じ利用者ニーズや安全で円滑な車両の活用方法等を調査します。

期間

令和2年4月～令和3年3月（平日）

運行路線

道の駅「のつはる」からJR大分駅（1往復）
※運行実態や利用状況に応じて適宜見直しを行う。

事業主体

大分市

車両の特性

最高速度：20km/h未満
座席：対面式ベンチシート
一充電走行距離：約60km仕様
保管場所：野津原支所
定員：22名
（座席15名、立席7名）
※乗務員2席含む



利用料金

無料

乗務員等

運転手及び補助者の2名体制
平日：定員13名（着座のみ）、休日・イベント等：定員20名

その他

土・日・祝日は、野津原や植田地域のイベント等で活用予定。
短期間の自動運転走行の実験も想定。（緊急用河川敷道路で検討中）
※本事業は天候やイベント、自動運転実験運行等により運休になります。

【都市交通対策課 内線1939】

eCOM-10走行ルート(案) 野津原-植田-(河川敷)-大分駅



凡例

	ふれあい交通
	路線バス
	鉄道
	高速道路

※河川の水位が上昇した場合には、下郡バイパス-宗麟大橋ルートを想定